

The logo for SCSK, consisting of the letters 'SCSK' in a bold, blue, sans-serif font. The letters are closely spaced and have a slight shadow effect.

夢ある未来を、共に創る。

# OSSユーザーのための勉強会 < OSS X Users Meeting >

---

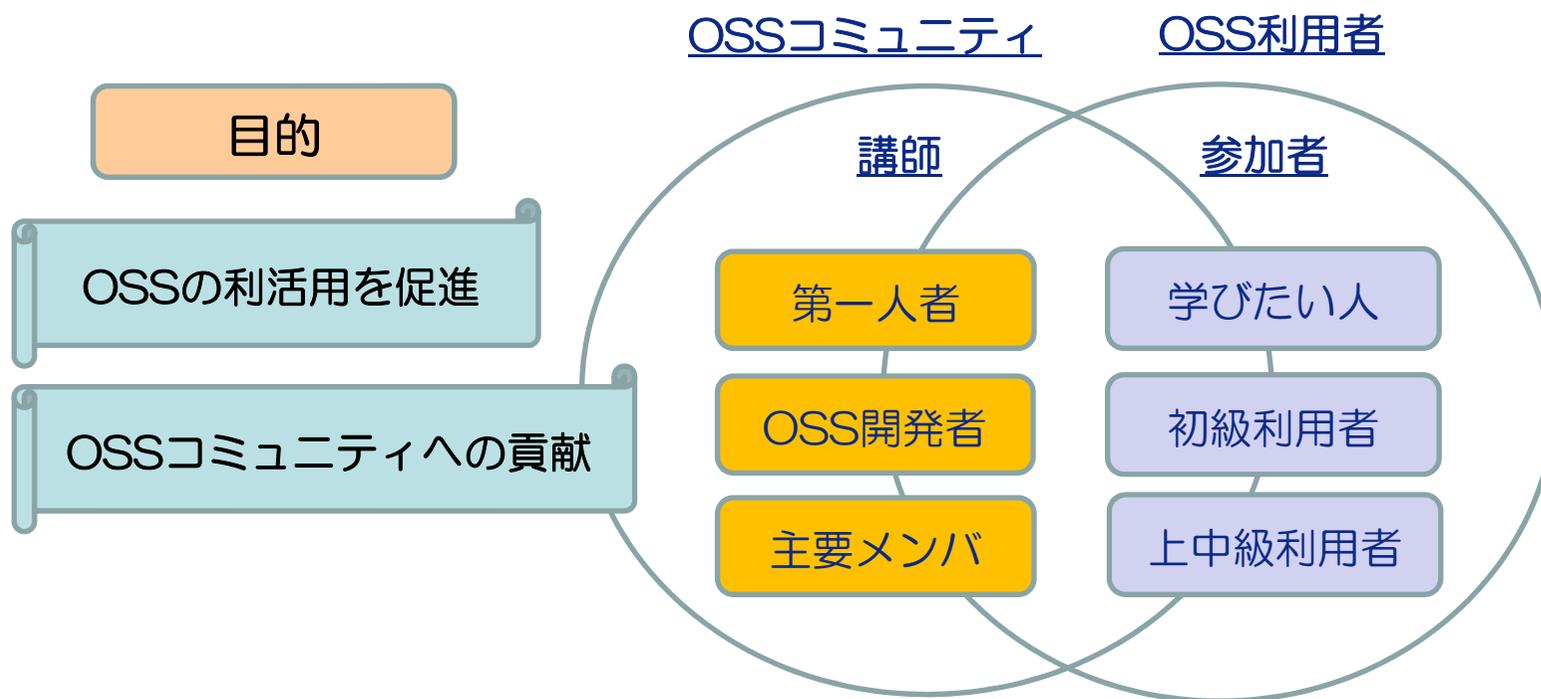
2017年3月21日

R&Dセンター OSS戦略企画室

SCSKでは、NPO法人トップエスイー教育センター協賛、国立情報学研究所（NII）GRACEセンター協力の下、注目すべきOSSをテーマに、開発コミュニティの当事者とこれからOSSを学びたい人との交流・相互理解を通じて、共に見識を高めるための勉強会シリーズ「OSSユーザーのための勉強会 <OSS X Users Meeting>」を、2012年10月より開催し、お陰さまで今年で5年目を迎えました。

注目のOSSをテーマに、2・3ヶ月に1度開催

4年間で17回開催し、21のOSSを取り上げる



勉強会の様子



講師・参加者の懇親会での交流



テーマとなるOSSの第一人者による解説

毎回60名程度のお申込みを頂き、延べ1,000名超

日本IBM

レッドハット

Google

日本OpenStackユーザ会

NTTデータ

富士通研究所

日本電気

日本Cloud Foundryグループ

フューチャー  
アーキテクト

インターネット  
イニシアティブ

東芝情報  
システム

日本Springユーザ会

Yahoo Japan

アシスト

オージス総研

日本MySQLユーザ会

トレタ

Fringe81

スタイルズ

日本JobScheduler  
ユーザグループ

オリンパスソフトウェア  
テクノロジー

CMSコミュニケーションズ

ZABBIX-JP

Zabbix Japan

Tremaチーム

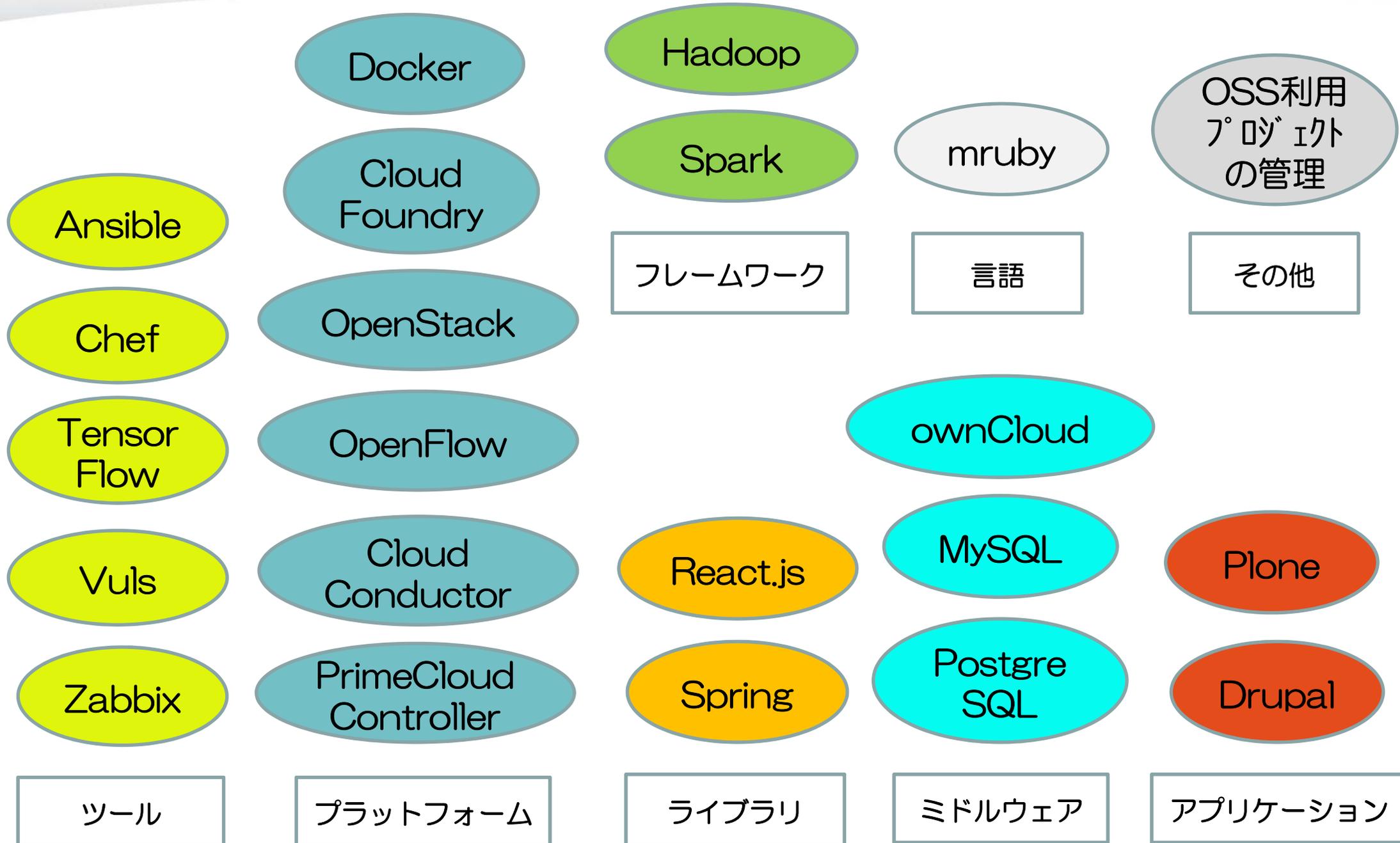
おおよそ40の組織の方々にご協力いただき、  
講師を務めていただきました。

(比較的、最近ご協力をいただいた組織の抜粋)

日本OSS推進フォーラム

国立情報学研究所

# 「OSSユーザーのための勉強会」で取り上げたテーマ (OSS)



# 「OSSユーザーのための勉強会」の講演資料、ビデオ映像

弊社ホームページの「オープンソースへの取り組み」で公開  
 ( <http://www.scsk.jp/product/oss/index.html> )

講演のビデオ映像は、本勉強会にご協力頂いている  
 NIIが運営するソフトウェア開発者のための動画学習サイト  
 「開発深知」 ( <https://devshinchi.jp/> ) に掲載

No	勉強会タイトル	講演タイトル	講演者	発表日
#17	AnsibleとChef	「サーバー設定自動化は経営課題～CHEFの現状と将来～」	日本アイ・ビー・エム株式会社 クラウド・テクノロジー・サービス エキスパート・テクノロジー・アーキテクト IBMクラウド エバンジェリスト 高良 真穂	2017/2/23
		TANSTABLEご紹介～AUTOMATION FOR EVERYONE～	レッドハット株式会社 テクノロジー・セールス 本部 パートナー・ソリューション・アーキテクト 部 シニア・ソリューション・アーキテクト 安藤 宗一郎	2017/2/23
		ライティング・トーク ①「利用者視点である10分でAnsible」 ②「Puppetが件外れにされてしまうので、呼ばれてないのにPuppetの最新動向を話すよ」	日本OpenStackユーザー会 齊藤 秀喜 落合 秀成	2017/2/23
#16	Vuls	「セキュリティの現状とOSSの応用」	フューチャー・アーキテクト株式会社 スペシャリスト 林 義二郎	2016/11/22
		「脆弱性スキャンーVuls徹底入門」	フューチャー・アーキテクト株式会社 スペシャリスト 神戸 廣多	2016/11/22
		ライティング・トーク 「Vuls・OpenVAS・AWS Inspectorを徹底比較」	牛田 隆之	2016/11/22